



Re-play the Rainbow shadow

クリスタルクレイと共に、廃棄ガラスびんによって構築される「癒しの壁」は、光によって、仕事で疲れた精神を癒し、洗い流すような「Rainbow Shadow」を現させる。廃棄ガラスびんから木漏れる光と影は、精神だけでなく都市空間も洗礼し再生し続ける。

Re-play 1: 廃棄ガラスびん

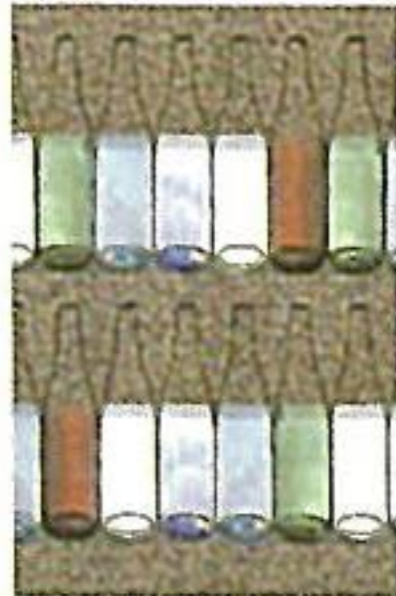
■ 廃棄ガラスびん + 光

ガラスびんに光を透過させると、ガラス色による色が落ちるだけでなく、実相間状の中を屈折した光線が波を揺られる。如同くピンを透ねることで、各びんの「色と光」が壁面に掛け合う。



■ 廃棄ガラスびん + クリスタルクレイ

ガラスびんを構造柱とし、それらの接合体として、びんの瓶部と、瓶部の形状が同一となったブロックによって構築していく。ブロックの原料には廃棄ガラスと粘土で出来ているクリスタルクレイを用いて、表面が滑順するように固める。また、ガラスびんは使用済飲用容器であるため、圧縮力や引張力に対して高強度をもつ形態であるため、構造材としての可能性を秘めている。



クリスタルクレイ



既設のセキストルを削いでレンダクリスタルクレイを固定する

Re-play 2: Rainbow Shadow

廃棄ガラスとクリスタルクレイで構築される壁を「癒しの壁」として、オープンスペースに構築する。この壁を透過した光と影「Rainbow shadow」によって、人々の精神を癒し、また都市空間に自然と人間のpowerを再生し続ける。

